

「第17回やまなし産業大賞」受賞内容

【最優秀賞】

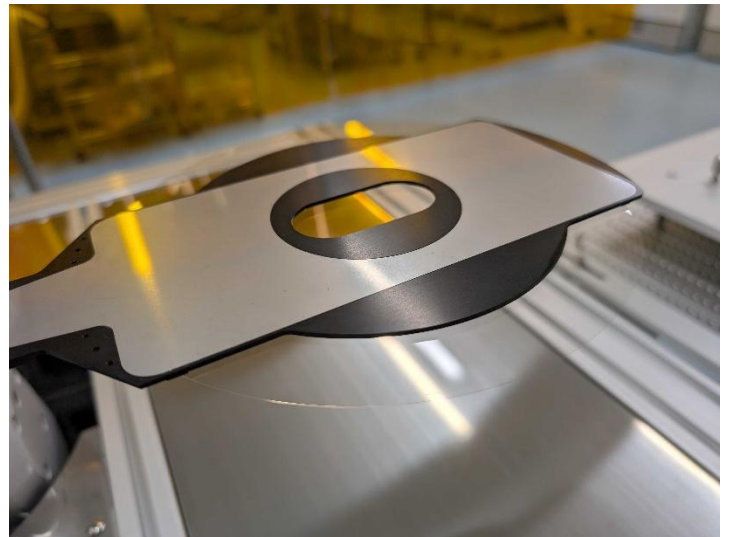
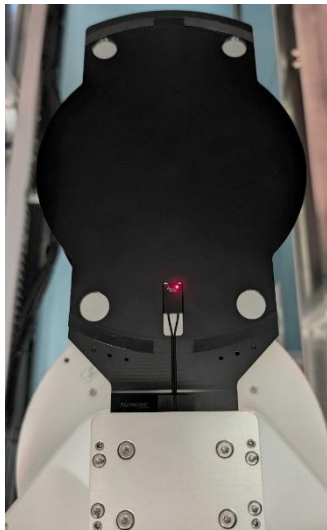
株式会社ハーモテック（甲府市、代表取締役社長：岩坂 齊、従業員：16人）

＜概 要＞

半導体業界において欠かせない存在となりつつある非接触搬送技術の最先端製品。ウェハの主要面に触れることなく、空気の力で浮上させて搬送するため、ウェハ表面からでもアクセスすることが可能。

＜受賞理由＞

半導体の性能に関係するウェハの大口径化・薄型化・新素材化が進み、ウェハの表面・裏面の両方に加工が施されるため、そのどちらにも触れずに搬送する技術が求められる。この課題に対し、保有している技術を改善・改良することで、従来困難であった極薄・大口径ウェハの非接触搬送が可能としたことを高く評価した。



【優秀賞】

リバーエレクトック株式会社（荏崎市、代表取締役社長：萩原 義久、従業員：82 人）

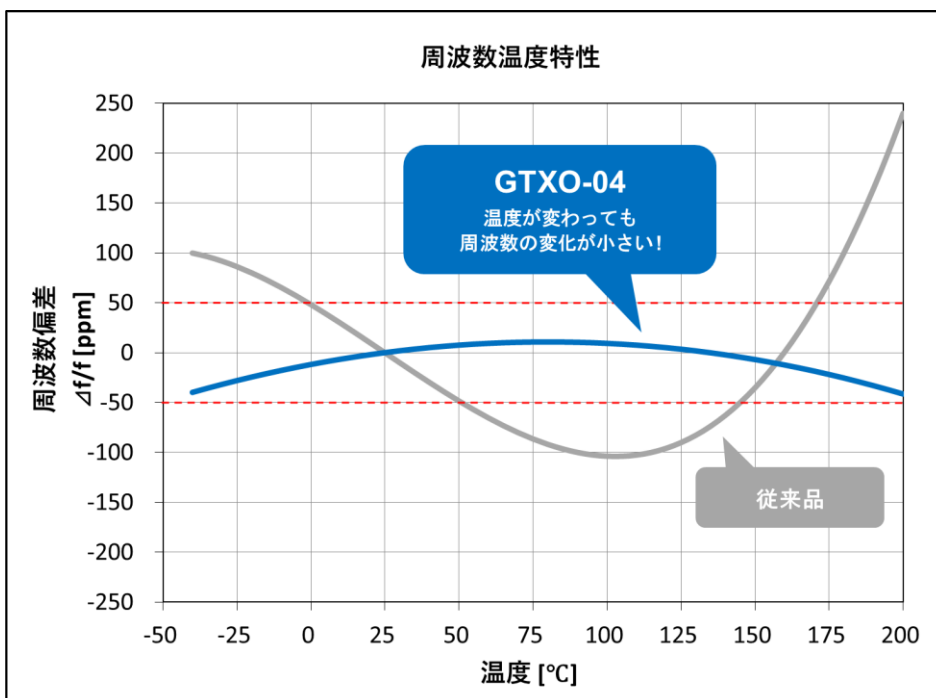
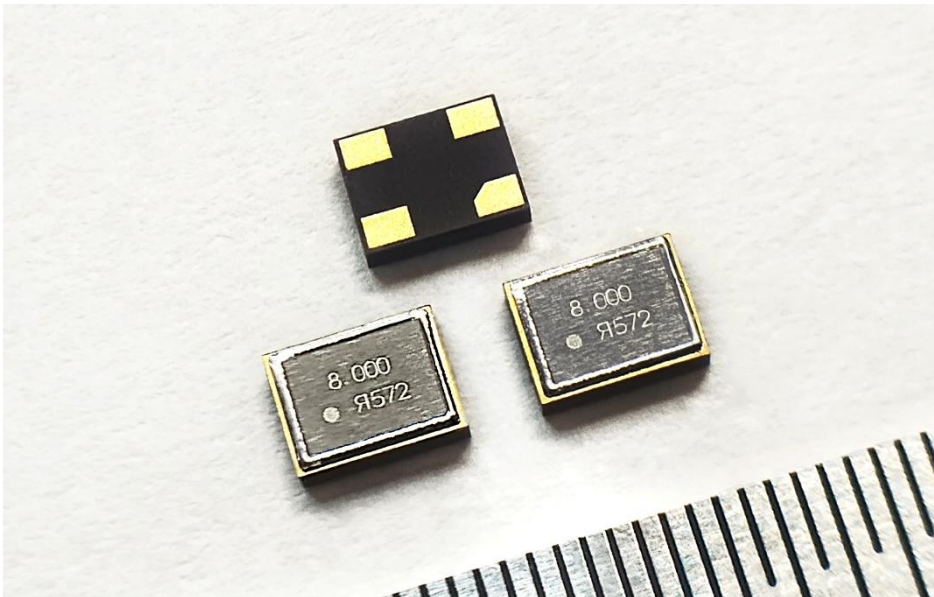
＜概 要＞

極めて広範（-40～+200 度）な温度環境下において、業界最高水準の周波数精度±50ppm を実現する画期的な周波数基準部品。従来の水晶発振器では対応困難であった過酷な環境下において、高精度な周波数安定性を提供。

＜受賞理由＞

産業技術の進歩とともに高温環境における高精度な周波数基準のニーズがあるものの、超高温の過酷な環境に耐え得る発振器は存在しなかった。

高精度微細加工、耐熱材料選定、また精密に制御する集積回路の設計など長年の知見と独自技術により製品を開発したことを高く評価した。



【優秀賞（小規模）】

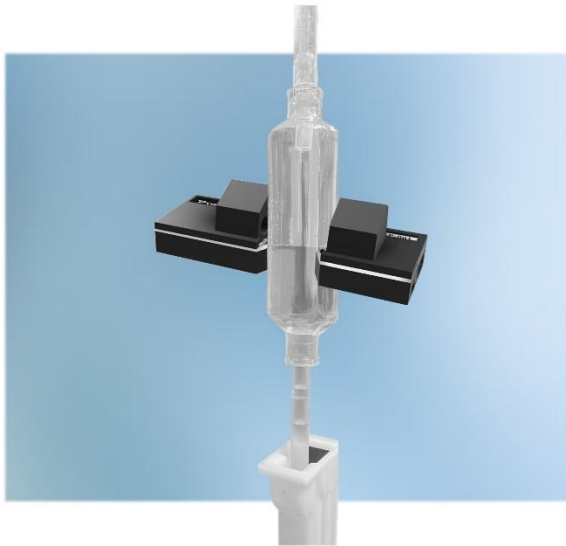
Pyrus Medix 株式会社（笛吹市、代表取締役：古藤田 眞和、従業員：2 人）

＜概 要＞

医療現場において点滴筒に装着。赤外線センサーで輸液製剤の滴下を監視し、滴下異常や終了の際にアラームで通知する小型のデバイス。従来目視で行われることの多い手術室での輸液管理に使用することで、インシデントやヒューマンエラーの発生リスクの払拭に寄与。

＜受賞理由＞

スピードや頻回の投与調整が求められる手術現場において、手間を要さず、安全で空間的にも邪魔にならない点滴検知装置が求められるが、存在しなかった。細かい現場ニーズに応える性能を持つ点滴センサーを開発したこと、また事業の将来性を高く評価した。



【審査委員奨励賞】

株式会社 GEEKSTILL（甲州市、代表取締役：岸川 勇太、従業員：2 名）

＜概 要＞

効果的にブドウの花の香を醸し出すことを目的とし、ブドウの花のうち、アルコールに溶ける部分と水に溶ける部分を組み合わせることにより、強いブドウの花の香がするクラフトジンの製造方法を確立。

＜受賞理由＞

出荷基準に満たない果物の大量破棄の問題に着目、素材として採用。クラフトジンとして新たな価値を見出したこと、また新しいお酒の文化が生まれる可能性が感じられることを評価したい。



【審査委員奨励賞】

ラハイナーズ合同会社（北杜市、代表：本郷 隆之、従業員：1名）

<概要>

介護現場における注意事項をリアルタイムで教えてくれる生成AI搭載の介護用アシスタントアプリ。大量の注意事項の共有や確認、情報の引き継ぎといった現場の混乱につながる事案を防ぐことが可能。

<受賞理由>

実際に介護現場で働き、本当に現場が必要としている商品を考え、開発。

AIによる外国語自動翻訳機能付きなど、外国人スタッフが混在している現場も考慮されており、介護現場の負担軽減に貢献することを評価したい。



介護施設には多数の高齢者がいます。また、多数の介護項目（食事、入浴、服薬、送迎など）があり、高齢者ごとに注意事項が異なります。つまり【多数の高齢者×多数の介護項目＝無数の注意事項】となり、これらを各職員の記憶に委ねるのは無理です。注意事項を迅速かつ簡単に確認できる仕組みが必要になります。本アプリをその仕組みを提供して、介護ミスを減らします。



情報共有ミスで、避けるべきアレルギー食品を提供してしまった！

増え続ける高齢者。増え続ける注意事項。もう覚えられない！



そこで、介護ミス防止アプリ【ささやきケア】スマートフォンに話しかけるだけで、すぐに注意事項を確認できます。

例）【職員】田中様入浴→【アプリ】高血圧のためシャワーのみ。浴槽入浴厳禁



外国人スタッフにも便利！

生成AIが注意事項を100カ国以上の言語に自動翻訳。外国人スタッフの母国語なので誤解がありません。注意事項をしっかり伝えます。

【審査委員奨励賞】

Superb8（北杜市、代表：袴田 隆嗣、従業員：1名）

＜概 要＞

北杜市産のリンゴ及びブルーベリーを用いたアメリカンスタイルのシードル＝ハード・サイダー。果実酒であるにも関わらず、別の種類の果実を混ぜる点に特徴あり。

＜受賞理由＞

日本におけるハード・サイダー市場は勃興期であり、明確な市場が存在しない中、ハード・サイダーに着目し開発することで、自ら市場を開拓していることを評価したい。



【審査委員奨励賞】

金長特殊製紙株式会社（市川三郷町、代表取締役：一瀬 清治、従業員：2名）

<概要>

伝統的な和紙の美しい風合いと透け感を活かしながら、紙の内部にメッシュ素材を漉き込むことで、従来の和紙にない高い強靱性を実現した新しい和紙素材。

<受賞理由>

現代の生活様式に合った新しい障子紙を目指して研究するなど、和紙産業における伝統技術の継承に向け、新たな挑戦をしていることを評価したい。

